



SSH通信

広島大学附属高等学校
Ⅱ年5組AS委員
2020年度 第11号
2021年3月19日発行

広島大学AP (Advanced Placement)を受講しました！

高大接続プログラムとして、今年度より、高等学校全生徒を対象として、広島大学AP (Advanced Placement)が実施されています。広島大学APでは、高等学校在学中に、大学の初級レベルのカリキュラムを学び、受講生が広島大学に入学した場合に、高校生のうちに修得した単位が大学の単位として認定されます。今年度は広島大学のキャンパスでの対面授業は行われず、オンデマンド(動画視聴等)による授業の受講、オンライン上での課題レポートの提出等という形で実施されました。開設された授業は、教養教育科目のうち、「睡眠の科学」「生活の中の遺伝と突然変異」「サイエンス入門」です。以下、受講した生徒による、それぞれの講義の紹介・感想です。

「睡眠の科学」

林光緒先生の「睡眠の科学」の講義では、睡眠について学ぶと同時に、実際に睡眠の記録をつけて睡眠の質をよくするために行った行動にどの程度の効果があったのかなどを検証しました。講義の中では、レム睡眠とノンレム睡眠についての正しい知識や、睡眠不足がもたらす深刻な影響などについて専門的用語を交えながらもわかりやすく説明していただき、高校生の私でも理解することができました。さらに、講義後には毎回アンケートがあり、授業に対する質問を受け付けて全ての質問に対して個別に回答していただいたので、オンラインならではの良さも体感できました。最後に、この学びの多いAPのプログラムを実現するために尽力していただいた先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

「生活の中の遺伝と突然変異」

この講義では授業名の通り、遺伝と突然変異についての概念や現象を、身近な生物やヒトを例としながら学ぶことができました。昆虫の定義の仕方に始まり、メンデルのエンドウを用いた実験、ヒトの血液型や遺伝病、ヒトにおける遺伝の実験手法、家畜の品種改良、三毛猫の性別についてなど、遺伝学だけでなく他の分野にもつながりのある内容が扱われているので、生物に興味のある人はぜひ参加してみてください。また、高Iの生物基礎で習う内容も多いので、無理なく受講することができます。課題レポートについてですが、課題研究の文献調べと論文作成に役立つ、歯ごたえと考察のしがいのある課題が出されるので楽しみにしてください。

「サイエンス入門」

サイエンス入門では、数学、化学、物理、生物、地球惑星システム学の5分野についてそれぞれ3時間ずつの講義を受けました。さらに毎時間講義をしてくださる先生が変わり、全15時間の中で沢山の先生方の、専門とされている研究の興味深いお話はもちろん、科学や専門の分野への考え方など普段の学校の授業では学べない多くのことを学ぶことができました。授業内容のほとんどは私にとって初めて耳にするもので、少し難しく感じることもありましたが、どの授業も切り口が面白く興味を惹かれるものばかりでした。また、課題のレポート作成やそのレポートに対する先生からのコメントから学んだことや気づきも多く、全体を通して自分にとって有意義な経験になったと感じています。